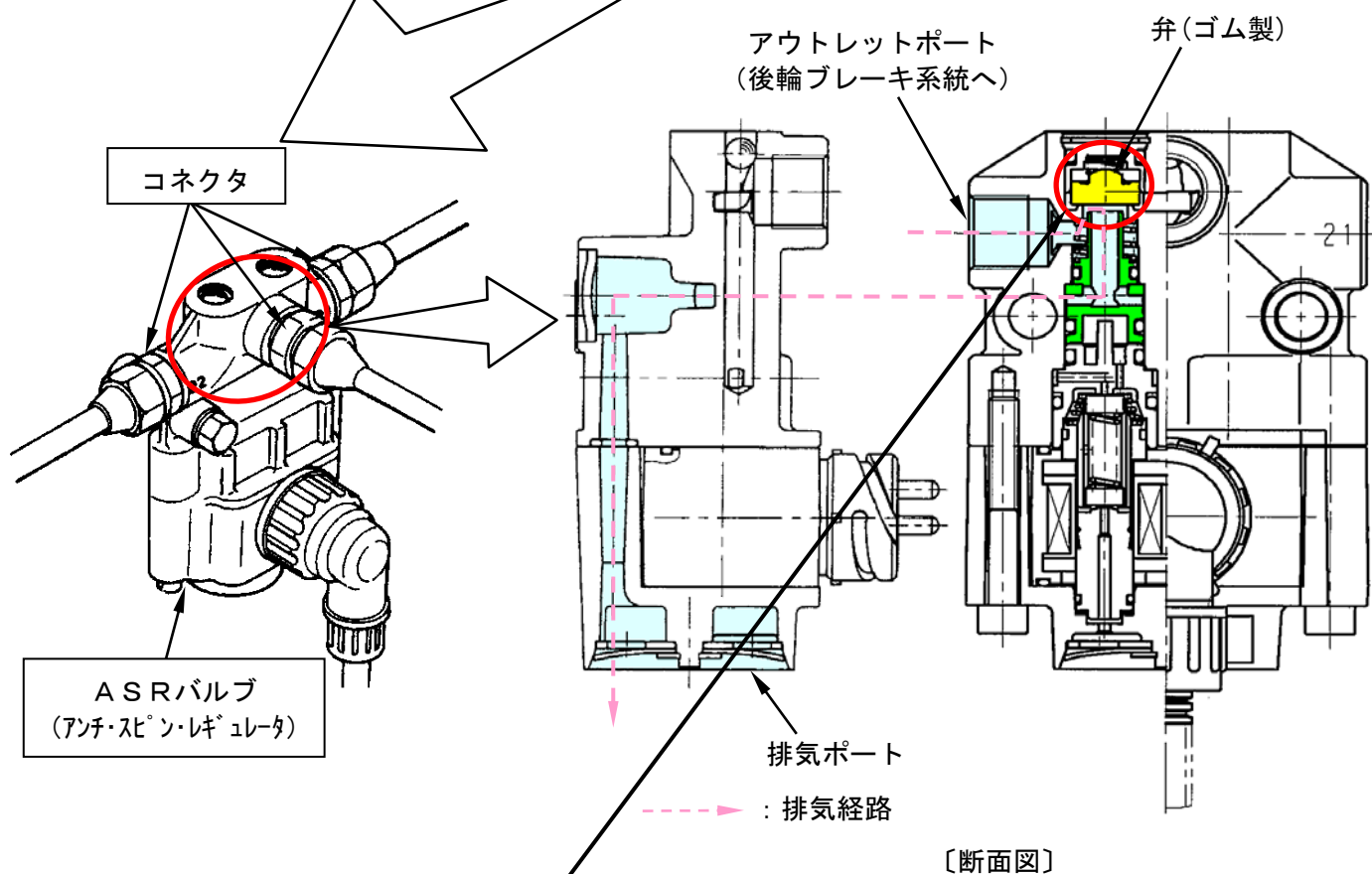
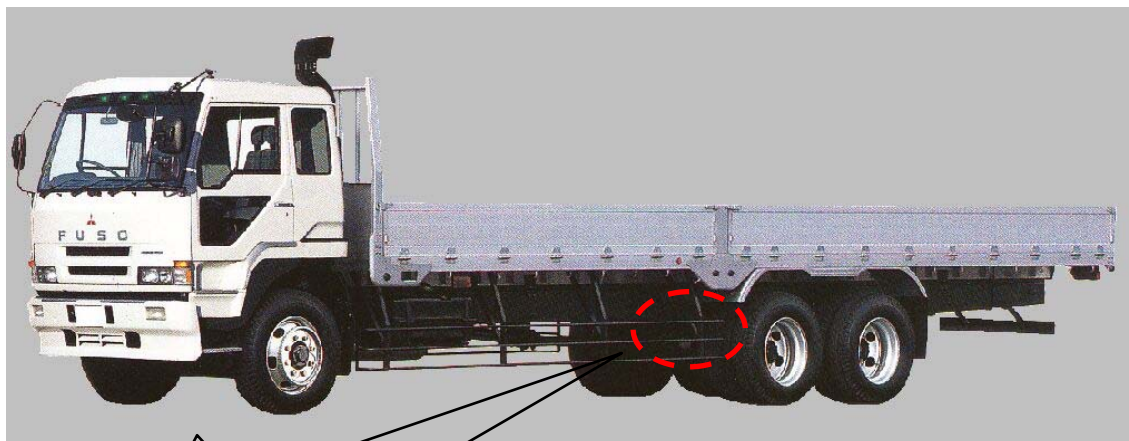


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

駆動輪の空転を防止するために装着されているASR（アンチスピンレギュレータ）バルブ内部の弁の材質および寸法が不適切なため、当該弁の背面にかかるエア圧による経年劣化および高温環境下での変形により、排気ポートを塞ぐものがある。

そのため、ブレーキ配管内に圧力が残留し、常にブレーキが作動した状態となってブレーキドラムが過熱して、最悪の場合、火災に至るおそれがある。

改善措置の内容

全車両、ASRバルブが装着されているかを確認し、装着されていた場合は当該バルブを対策品と交換すると共に配管コネクタを新品と交換する。また、ASRバルブが10年毎の定期交換部品になった旨を、メンテナンスノートに追記する。

注：□は、交換部品を示します。

識別：作業終了車には、車両左後方点検リッド内側上隅に「HD118」の文字が記載された白黄色のシールを張付ける。